

第7回 中央通り再編関係者調整会議 会議録

■ 日 時 令和4年1月6日（木） 14時00分から17時00分

■ 場 所 四日市商工会議所 1階会議所ホール

■ 出席者

（学識者）

有賀隆座長

松本幸正委員

村山顕人委員（Web 会議にて出席）

（交通関係者）

布施徳彦氏、木村誠司氏、仲範和氏（代理）、三輪直樹氏（代理）、

中島嘉浩氏、青木周二氏（Web 会議にて出席）

（市民・商工関係者・大規模権利者）

中村克義委員、山路和良委員、速水正明氏、北岡泰爾氏、堀木直弘氏、須藤康夫氏、佐野貴信氏、鈴木主計氏、山本寛氏、中野光典氏、興梠貴尚氏

（行政）

川村聡氏（代理）、菅良一氏、真弓明光氏（Web 会議にて出席）、舘英次氏

（オブザーバー）

三重県警察本部交通部交通規制課施設係長 川村知広氏（代理）

国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設安全対策官 太田裕之氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長 武田正昭氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部地方整備局道路部道路計画課長 大西宵平氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長 石井信氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官 鈴木博行氏（代理）

■ 議事

1. 第6回中央通り再編関係者調整会議の振り返り
2. 近鉄四日市駅周辺等整備基本計画（素案）の協議
3. 先行整備区間の検討状況の報告
4. 利活用計画の検討状況の報告
5. 今後の進め方

■ 内容

<座長>

調整会議の構成員の皆様方、新年おめでとうございます。本年もまたよろしくお願ひ申しあげます。ただいま配布資料の説明がございましたが、ホチキス留めの資料4、資料5いずれもだんだん分厚くなってまいりました。昨年の第6回目以降も計画内容が積み上がってまいりまして、本日前回からの経過報告を兼ねた振り返りと、主に資料5の基本計画の素案について、ご確認もあわせて進めていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

着座で進めさせていただきますけれども、資料1の次第というものをご覧いただければと思ひます。本日の次第で「1. 第6回中央通り再編関係者調整会議の振り返り」、「2. 近鉄四日市駅周辺整備基本計画（素案）の協議」、さらに3点ありまして、基本計画素案の目次とその内容、それからバスターミナルの整備に係る事項の取り扱いがござひます。ここまで事務局の方から資料説明をいただいて、その後、皆様方に一巡、全員に発言いただこうと思ひておりますのでよろしくお願ひいたします。発言いただく順番ですが、できるだけ効率よく進めてまいりたいと思ひますので、誠に勝手ながら順番を考えさせていただきました。オブザーバーの方々にも、もし何かあったらお声掛けいただき、あるいは挙手いただければ発言いただけるようにしたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。ここまで進め方ですがよろしいでしょうか。それでは事務局の方にご説明をお願ひしたいと思います。次第に沿ってよろしくお願ひいたします。

【1. 第6回中央通り再編関係者調整会議の振り返り】

【2. 近鉄四日市駅周辺等整備基本計画（素案）の協議】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされ、続いて各構成員より以下のとおり質問・意見等をうかがった。

<座長>

資料の説明どうもありがとうございました。それではここから構成員の皆様方にご意見をいただいきたいと思ひています。まず資料4について事務局の方から説明いただきましたけれども、5ページ目にこの基本計画の目次案が載っております。先ほどもご説明ありましたが、この一番右側の（素案）と書いてあるものが基本計画素案の目次で、特に赤字で追記されている項目、それから青字で調整が必要な項目があり、資料5と一致している内容です。内容については続けて事務局からもご説明いただいたかなり情報量が多い内容でしたが、まずは、素案の目次についてご意見をいただいきたいと思ひます。目次と関連する基本計画の内容についても、同時にご説明あるいはご意見いただいた方がいいものの中にはあるかと思ひますので、その場合はおっしゃっていただければと思ひます。

<座長>

それではA氏から順にご発言いただきたいと思ひます。

<A氏>

今回事務局の方からいろいろご説明いただきまして、また資料も拝見させていただきました。だいたいビジュアル的な資料が多くイメージしやすくなってきて、実際こういうものができるのかというのが分かりやすくなってきた、と思ひているところでござひます。

その中で、目次や中身を拝見させていただきますと、非常にデザイン的なところについては分かりやすくなってきたと思ひ一方、機能的な部分がもう少し要素として入っていればいいのではないかと感じました。

例えば、事務局の方のご説明で次世代モビリティの話がございましたが、先般、規制の緩和が行われて、また導入に向けていろいろ加速していくというような話もございましたけれども、おそらくそういった形で次世代モビリティにつきましても、基本計画が実行されるまでにかかなりいろいろなところで進んでいくのではないかと思ひているところがござひます。また四日市市さんの方でも、いろいろ自動運転の実験等もされておりますので、個人的な意見としましては、こういう次世代モビリティの機能につきましても、もう少しこの基本計画の中に盛り込んでいった方がいいのではないかと感じた次第でござひます。一度ご検討いただければありがたいと思ひます。

<座長>

ありがとうございました。事務局からは後でまとめてご発言いただきたいと思いますので、それぞれのご意見について記録をいただくとともに、ご回答についてもあわせてご準備をお願いします。それでは、続けて、B氏よろしくをお願いします。

<B氏>

全体のイメージは、3Dのパース等が出てきて非常に湧きやすくなってきた、と思います。JR四日市駅周辺のレイアウトのイメージも出ておりますが、駅前広場に公的施設を立地することでのぎわいを創出する、というご検討をされるということで、我々にとっても非常にありがたい話であると思っております。当社としてもできる範囲で協力をさせていただきたいと思いますので、個別の協議につきましてよろしくをお願いします。なお、施設の範囲に駅前広場や駅舎が入っていますが、駅前広場というのは交通結節機能になっているところですので、にぎわい施設がどういったものになるかということとの兼ね合いもありますが、その使われ方や配置等につきましては具体的な機能と整合を図るような形で検討をお願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは、続けて、C氏よろしくをお願いします。

<C氏>

目次の10章にあります「バスターミナルの整備に係る事項」のところで、バスタ部会との調整項目ということで、青字で書かれていますが、そういったところも踏まえて、バス事業者として全体的なことも考えながら、バス乗り場、それから待合、出札といったところの機能・役割ということを果たすということも考え、なによりお客さまの利便性を考えるということも含めていろいろなご意見や要望を今後も調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは、WEBの方でD氏、続けてよろしくをお願いします。

<D氏>

私も個人的には非常にブラッシュアップされていて、一般の方が見ても非常に分かりやすい内容になってきたと思っております。個別の細かい内容につきましては、C氏が現地でご発言されますので、特段意見等はございません。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは、E氏、続けてよろしくをお願いします

<E氏>

基本計画の目次に関しては、一生懸命考えていただいておりますし、特段何もございません。これでもう十分だと思っております。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは続けてF氏からよろしくをお願いします。

<F氏>

国道1号までのにぎわいづくりが十分に行われていると思いますが、国道1号から JR 四日市駅までのにぎわいづくりが、この中にはあまり入っていないように思っております。JR 四日市駅周辺の方々は大変気にしていますので、にぎわいづくりを何とか考えてあげてほしいと思います。それと私ごとになりますが、この東西島の真ん中がバスの入り口になりますが、地下駐車場の入り口とバスの入り口になっておりまして、そこに自転車道ができることになりました。そこに私どもの車が入るのに自転車道と接触しないかすごく心配しております。また、駐輪場が横にできて、そこに自転車が集まってくると思いますが、これは何とかはっきりした図面ができないかと思っております。それともう1つ、地下駐車場の出口の方ですが、出口の場所を変えてもらってありますが、どこからどこへ抜けるのか、まだ何も話がありませんけれども、ぼちぼち場所を決めてほしいと思

ております。

<座長>

ありがとうございます。事務局の方から後でまとめてご説明をお願いしたいと思います。それでは、G氏、続けてお願いします。

<G氏>

この計画を拝見いたしまして空間のデザインであったり、機能的なことであったり非常に具体的にされており、より分かりやすくなってきたという印象を受けます。

ただ、この段階で申し上げることではないかもしれませんが、この計画の中にもう少し「四日市らしさ」というのか、そういうイメージも何か組み込めないかという印象を受けたのと、あと、歩きたくなる中央通り、というのは非常に素晴らしいコンセプトだと思いますが、いかにすれば歩きたくなるか、というところの魅力がもう少し出せるようになってくると、より皆さんもイメージできるのではないかという印象を受けました。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは、続けてH氏、よろしくお願いします。

<H氏>

この素案につきましては非常にきめ細かく作られていて問題はないと思います。ただ、個々においては、もう一步踏み込んだ中身についての検討が必要な部分が残されているのではないかと思います。それと、東海道の道筋がずっと中央通りを横断して、浜田の方に抜けていく道になっていましてけれども、「東海道らしさ」というイメージが非常に希薄ですので、その辺りを今後どのような形で出していくのかという検討をお願いしたいと思います。

それと、先ほどF氏が言われたように、JR 四日市駅から港との連結について、まだ計画はされているようですが、具体的な話が非常に少ないです。港あるいは JR 四日市駅周辺の再開発も非常に重要な課題になってくるのではないかと思いますので、そのあたり、もう一步突っ込んだ話し合いをできる場があればいいかと思っております。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは続けてI氏、よろしくお願いします。

<I氏>

本日で3回会議に出ささせていただいたわけですが、1回目から出ささせていただいてはないので、今日これを拝見いたしまして、非情にイメージ的には素晴らしい四日市の中央通りなるであろうということですが、2点ほどご意見申し上げたいと思います。まず1点目は、昨年の末に、連節バスのテスト走行をされたと思います。その段階で、私が心配しているのは、将来的に東島と西島を無人バスが走る場合において、相当長いバスが走行することについて支障は出ないか心配でございます。おそらく、そういう点についても、すでに検討されておると思います。それから2点目は、災害時の避難場所、福祉について、資料5の55ページのバスターミナルの被災時の対応についてですが、最悪を想定した場合に心配な点があります。一時的に避難する場所はそれでよろしいかと思いますが、長期的にわたって避難をする方について、どの場所でどうするのかもイメージ的には湧いてきませんし、特に福祉避難所などの介護が必要な方々の避難所については将来的にどういうことを考えているのでしょうか。それともう1点、昨年も四日市市自治会連合会の理事会を開いたわけですが、その中で出た意見は、将来的に非常に素晴らしい中央通りになっていくであろうということですが、例えば、少子高齢化が進んでいる中で、山あいから海あいの方まで高齢者がたくさんいて、その人たちがどういう形でこのにぎわいの場所に来られるのかを将来的には検討してほしい。なかなか単独では来られないため、バスをどうするかという基本的な部分ももっと検討してほしいという意見がございました。まだ先の長い話になりますけれども、それを含めた中でいろいろ検討していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<座長>

ありがとうございます。それでは続けてJ氏、よろしくお願いします。

<J氏>

東海道については、先ほどH氏が言われましたので割愛をさせていただきますけれども、四日市にとって歴史的遺産であり、文化的遺産であるので、そこをやはり明確にして、もっと詳しく扱っていただきたいと思います。それから今感じましたが、このバスターミナルに関する治安とか防犯といった面はどのように考えているのかと思っています。現在、近鉄高架下に近鉄四日市駅前警備派出所があるのですが、今全く機能がしてないように感じ取れます。もし何かあったときには諏訪交番で対応していくのか、それとも新しくできるバスターミナルのところに東島か西島か分かりませんが、そういったところに警備体制といったものを配置していくのかどうか、お聞きしたいと思いました。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは続けてK氏、よろしくお願いします。

<K氏>

基本計画の目次の中身につきましては、徐々にブラッシュアップされていっておりますが、特段の意見はございませんが、他の構成員さんもおっしゃっていましたように私自身も、まだまだ掘り下げて検討していかなければならないものが多々あるように感じております。ただ、基本計画というのはかなり上位に位置するものなので、それらをこと細かく書いていたらすごいボリュームになって基本計画の本質と外れてしまいますので、基本計画の内容自体はこういうものかと思っていますけれども、どのような問題点・課題があって、今後どのように掘り下げていき、そして基本計画に紐づいてどのように事業を進めていくのか、というような全体像のようなものがこの中に、1ページでも含まれていたら、より良いものになるのではないかと個人的に思いました。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは続けて、L氏、よろしくお願いします。

<L氏>

私どもの公共交通機関といたしまして、バスターミナルに関わらせていただくこととなるわけでございます。バスタ検討部会の意見もここへ取り組んでいただいておりますが、今後、私どもはお客様をこちらへ導き、またこちらから発信させていただくということになりますけれども、やはり四日市が盛り上がるためには中央通りだけでなく、いろんなところへ人が流れていかななくてはいけないというところを、先ほどK氏さんがおっしゃられた通りここに盛り込めないものかと思えます。細かい人の誘導を街の中でどうやって図るか、私どもがお客様を運んで、ここからどうやって誘導していくのかを取り組んでいただければと思います。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは続けて、M氏、よろしくお願いします。

<M氏>

全体の計画に関しましては、非常にイメージしやすい形に仕上げさせていただいており、ありがとうございます。問題はないと思います。申し上げたいのは、まずバスタや国道1号までのところは北勢地域のおそらく玄関口というような形になると思います。平常時の使い方に関しましては、先ほどJ氏の方からも話がありましたように、防犯等は、平常時にそれなりに対策をしなければいけないと思いますし、また非常時の扱いについては、避難所というような扱いも考えられているということです。そういった面では、よそから来られた方が迷ってしまわないように、どこに何があるのか、電源は確保できるのか、トイレはあるのか、そういったいろんな情報や地域の災害情報の提供ができるような仕組みを考えていければいいと思います。そういった面で、私どもも若干は何か協力できるところがあるのではないかと考えておりますので、意見の1つとして挙げさせていただきます。あともう一点、G氏の方からもお話ありましたが、この地域を四日市ならではの尖ったところ、例えば大きなモニュメントを作るとかそういったことで、よそから人が来られるような案が1つあったらいいのではないかと、ということで2点ご意見として申し上げます。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは続けてN氏、よろしくお願いします。

<N氏>

昨年の中間取りまとめからだいぶ3D的な図面も入って、1年間でイメージがしやすくなったというのが感想でございます。個々の部分につきましては今後修正等という言葉を検討する部分もあるかと思いますが、全体的にはすごく分かりやすいページで、これで基本的な部分はいいいのではないかと考えております。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは、O氏からよろしくお願いします。オブザーバーの方にもあとでご発言があればいただくようにします。

<O氏>

まず基本計画の目次案についてという座長からのご指摘でしたので、私はかねてから、なかなか腹に落ちないのが、この「近鉄四日市駅周辺等整備基本計画」というネーミングです。過去からの流れでご検討いただいているわけですが、検討内容については、近鉄四日市駅周辺からかなり広範囲な検討、構想が練られていまして、私ども経済団体としても、この計画を広く情報発信して、様々な投資も呼び込んでいかないといけないと思っているわけですが、いつまでも近鉄四日市駅周辺等というような中でまとめられていると、なかなかその辺の情報発信においてインパクトがないな、ということを感じて持っております。内容的に見させていただくと、JR四日市駅から港の方面において、四日市港管理組合等で今検討いただいている港の方のにぎわいづくりまで繋がっていくプロジェクトになっているわけですし、そういった点から、どこかの時点で、この基本計画を適切なネーミングというか、いろんな投資を呼び込めるような魅力のある名前にしていただいたらいいかと思っております。それからもう1つ、中央通りのエリアデザインという形で、いろんなデザインを描いていただいているわけですが、この辺につきましても、まだまだいろいろと検討の余地があるということで、ここでは「イメージ」と目次が立てられております。この「イメージ」というのがどの辺まで制約をしていく内容なのか、例えば防災機能もいろいろ詳細に検討いただいておりますが、使われ方次第では、この防災機能が機能的にどうなっていくのかというあたりも、かなり変わってくる要素でもあるかと思っております。ワークショップなど色々検討いただいておりますが、さらにもう少し有効な使われ方、あるいは民間の投資を呼び込んでいくというようなことを検討していかなければいけないと思っております。基本計画としてまとめられたことのどれぐらいが制約を受けていくことになるのかという点を少し危惧しているところでございます。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは続けてP氏、よろしくお願いします

<P氏>

内容につきましては本当に、たくさんパース等を入れていただいて、見やすい素案になったと私も思っております。それで1点、資料5の21ページで、駅西の市民公園のところの表記について、「四日市都ホテル」となっていますが、今は、「都ホテル四日市」に名前が変わっていますので、誤植だと思っておりますので訂正をお願いしたいです。やはりG氏等も言われました、四日市と言えば何か代表する水沢のお茶とか、駅西の鈴鹿山脈への眺望、山並みと目の前の茶畑が同時に視界に入るベンチ、と表記されている部分ですけれども、パースで言うと30ページのアングルの眺望のところ、ベンチの左の方で自転車が通っている両サイドの茶畑のように、やはり特産品がある部分に関しましては、大々的にPRできるような看板等も設置いただいて、発信していただきたいと思っております。また、市民公園については、今回の予算的には入っていないのかもしれませんが、かなり年数も経っていますし、防災の拠点といいますか集合場所等になりますので、この辺も同時に進めていただければと思っております。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは続けてQ氏、よろしくお願いします。

<Q氏>

基本計画の中身についてはこんな感じかと思っておりますが、この計画自体が、やはり四日市の市民の方、それから来街者の方のためにということが最大の目的だと思いますので、このはじめのところに、どちらかというと事業者視点とか行政視点で書いてありますが、これによって四日市市民の方、それから四日市に来ていただく来街者の方にこんないいことがありますよ、といったことをちょっと入れられるといいというのが1つになります。それから、これは基本計画の中ではありませんが、今後、防災、イベント、個別施設、駐輪場等、いろんなコンテンツを揃えていかれると思いますが、やはり一番大事なのは告知であると思います。これからSNS等も駆使されると思いますが、サイン計画やハード的なものを合わせて、どう告知していくのかということも、基本計画後に進めていく中で重視していただければと思います。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは続けてR氏、よろしくお願いします。

<R氏>

まず、基本計画の目次のところにつきましては、今まで練られてきたこの中身でおおよそ良いのではないかと感じております。駅前の人の流れ、回遊性、それから車、自転車といった部分が非常に分かりやすくなりましたし、パースの方も入れていただきました。非常にイメージしやすいものになったのではないかと考えています。先程から、意見が出ておりますけれども、これで全ての協議が終わったということではなく、詳細の打ち合わせがこれから具体的に進んでいくことだと思っています。そこで、1番後ろにスケジュールの記載がございまして、今後このように進めていくといった内容が出ていくわけですが、ある意味、基本計画の策定と平行して、工事の方が始まっていくところが出てまいります。そうすると、この資料のままですべてが進んでいくというように見えなくもないのかと、要は、これから具体的な検討が所々出てくるかと思えますし、先程からの意見としても、この中に課題やこれから検討しないといけないところを記載した方が良いとのご意見もございましたけれども、そういったところがこのスケジュールの中に落とし込まれていく方が良いのではないかと考えました。

<座長>

どうもありがとうございました。それでは、名簿の方でオブザーバー参加の方、ご発言ありましたらぜひお知らせいただければと思いますがいかがでしょうか。S氏どうぞよろしくお願いします。

<S氏>

基本計画を見させていただいて、イメージ図など随所に盛り込まれていて、見る人にとっては将来的にどのように変わっていくかが非常にイメージしやすいようになっていると感じました。ただ、私が四日市の人間ではないからかもしれないですが、いろんなところのアングル図を付けていただいておりますが、文字だけでどこから望むアングルかを書いていただいておりますが、いまいちどの位置から見ているのか、文字だけだと分かりづらいと感じたところがございます。例えば、48ページのところにあるように、矢印がどこから見ている図面かというのを分かるようにしてもらえれば、もっと分かりやすいと感じたところがございます。

<座長>

どうもありがとうございます。WEBの方はいかがでしょうか。もしWEBの方でご発言がありましたら、声に出していただいても結構ですが、いかがでしょうか。オブザーバーの皆様大丈夫でしょうか。ありがとうございます。目次についてご確認をまずお願いしたいということでご発言いただきましたけれども、併せて内容についても少し触れていただいたかと思えます。この後もう少し時間もとって、内容についても引き続き検討をしていきたいと思っておりますけれども、一旦ここでなにかありますでしょうか。

<T氏>

お世話になっております。タクシーの観点からちょっと細かいところですが、JR 東海の方もおっしゃっていましたが、JR 四日市駅についてはいろんな広場の計画がまだ調整上固まっていないとのことでした。今この資料の中の1番最後の方で、西広場、それから南広場について、具体の台

数が入っています。今までの議論の中で台数が入っていることについて存じていますが、この基本計画の中で、この台数が入ってしまうと、今後、個別の協議をしたり、いろんな利用形態を考えたりして変わった時に、このあたりの計画に抵触するという恐れもあるので、もし台数が必要でないならば、消した方が気がしたので、意見として1度聞いていただけたらと思います。

<座長>

ありがとうございます。それではほかにどうでしょうか。それでは、一旦ここまでのところで、いろいろなご質問も含めたご意見もいただいていますので、事務局の方で多分整理いただいていると思いますから、できれば順番にご説明をいただければと思いますが、最初のところでは、A氏から基本計画の中に、次世代モビリティに関連するような機能を反映できたら良いのではないかとのご提案だったかと思いますが、いかがでしょうか。

<事務局>

おっしゃられるように資料5で申しますと、例えば13ページの、最先端の取り組みのショーケースとなる空間づくりのところに「将来的に次世代モビリティを導入」と言葉としては書いてありますが、具体的に配置の中で書ける工夫がないかというご意見だったかとの認識でございます。先ほど説明もさせていただきましたけれども、対応は自転車道として双方向で南北に整備をすることになっております。そこについては明確に、次世代モビリティの走行空間となり得る可能性は十分にあると考えられます。そのあたりを資料の中でどのように表現していくかについて、検討していきたいと考えた次第でございます。例えば、25ページのところにつきましては、自転車動線というような形で入れさせていただいております。その中に表現する方法は可能かと思ったところでございます。

<座長>

ありがとうございます。現計画案で、自転車の動線として青色の矢印線で引かれているところの将来的なポテンシャルとして、先ほどA氏からもご提案発言があったような次世代モビリティ対応という可能性があると思いますので、ここは基本計画上の表現をどのようにどのレベルで書くかというのは少しご検討いただいた上で、提案についても反映できればと思います。それでは続けてまいります。B氏からは、JR四日市駅についてのご発言がありましたが、今後JR東海と調整するところが非常に多かろうと思いますし、それから、詳細については様々な公共側の検討についても、現段階でこの基本計画案に反映できることと、今後の調整次第ということもあるかと思いますが、この辺の表現について内容に盛り込むところが何か追加であるかどうかということも含めていかがでしょうか。

<事務局>

まず、JR四日市駅につきましては、市の方で公的な機能を配置していこうと意思決定をしたということで、これまでいろいろと議論させていただいたところに、公的な機能が乗ってくるということで改めて交通機能も含めて配置を計画しなくてはいけないということになっております。ここにつきましては新たに設置する施設のスペックが決まっておりませんので、その要求水準とかもまだ決まっていない状況でございます。そういったところを含めて、調整を図っていくということをしかりと引き継げる形をとっていただければと思っております。また、その関係でタクシーの台数などについてもご意見いただきました。これについては、関係者と調整し、改めて機能の配置や台数等に関する記載方法について、事務局の方で一度検討させていただきたいと思っております。

<座長>

ありがとうございます。事務局からのご説明の後半の話というのは、最後にT氏からいただいたものについてということですか。

<事務局>

そういったものを含めての調整事項になると思いますので、記載の仕方を事務局で考えさせていただこうと思います。

<座長>

ありがとうございます。それでは、続いてまいりたいと思いますが、ちょっとポイントだけ絞っていききたいと思いますけれども、1つは国道1号から東側、JR 四日市駅までのにぎわいづくりの提案が相対的に少ないのではないかというご意見がありました。これについてはいかがでしょうか。

<事務局>

まず、今回整備を進めていく中で、来年度、にぎわいの社会実験を行おうと思っております。にぎわいの社会実験を通して、例えば国道1号から東側にどのようなにぎわいが醸し出せるのかといったところを市民の皆さんに見ていただくことで、イメージしていただけたらと思っております。特に皆さんからは、そういう使い方の部分での意見をかなりいただいたと思っております。その使い方に関して、いろんな方の参画をもらいながら作り上げていくとなると、これは基本計画を基につくっていくものであり、基本計画を固めていくその過程に関わってくるものと思っておりますので、我々としても、基本計画を固めた後に使い方を作っていくその過程を、市民の方、あるいは対外的にしっかりと見ていただけるような情報発信、これができるようなやり方を考えてもおりますので、そういったものについて、今後の進め方の中で盛り込めればと思っております。これにつきまして事務局の方で試案を作りたいと思います。

<座長>

どうもありがとうございました。続いてですが、ここからはピンポイントのご発言だったと思いますが、東西バス島間のバス入り口の動線と、くすの木パーキングへの地下駐車場の入口の動線が重なる場所に自転車道と駐輪場が配置されていますけれども、F氏からご発言があった、交錯する心配や懸念はどうでしょうか。

<事務局>

バスターミナルの入り口についてですが、ご指摘は動線がクロスする計画になっているという点でございます。例えば、歩道や自転車横断部分につきましては、スムーズ横断歩道として整備をしていくような方針を書かせていただいております。実際の設計は今後になりますが、いろんな注意喚起、例えば路面の表示等、設計の部分で今後調整を図っていくことになるであろうと考えております。交錯する場所の案内や設計の仕方というのは、非常に重要なご指摘をいただいたと捉えているところでございます。

<座長>

ありがとうございます。次の意見は複数の構成員の皆さんからいただいた共通のものですが、基本計画としては結構ではありますが、四日市らしさとして、例えば東海道、それから伊勢茶の話も出ました。特にちょうどバスタの事業区域の中に入っていますが、東海道の広場を含めて、四日市らしさというものの基本計画での扱い方、位置づけというものが少し弱いのではないかと、少ないのではないかと、というような趣旨で複数の構成員から同様の意見をいただいたかと思っております。おしなべて、四日市らしさというのをどのように捉えられるか、基本計画にどう盛り込むかについてだと思いますが、この辺はいかがでしょうか。

<事務局>

ありがとうございます。四日市らしさにつきましては、我々も十分に意識をして計画を作っております。ちなみにご指摘いただきました資料5の30ページのパスについてですが、ご指摘のとおり茶畑を活かすようなデザインを入れておりますが、おそらく初めて見る方はこれに気が付かないかと思っておりますので、やはりビジュアルで見ていただくのが一番わかりやすいかと思っております。こういったもののデザインに配慮しながら進めるなど、の内容を追記することで、四日市の中に何があるのかについてより見ていただけるように検討してみたいと思います。

<座長>

例えば今のパスがある資料5の30ページですが、それに関連するエリアデザインの考え方、景観づくりの考え方とところに東海道やお茶の記述がありますが、あるのだけれども、このパスの絵が今回ドーンと分かりやすく出てきたことで、事務局からも補足があったように、ページの中に埋もれてしまっている記述と絵がなかなかリンクして見られないような状況になってしまっているため、もう少しうまくその補足説明みたいなものを加えていただけても相当効果はあるかと思

います。

それから、もう少し踏み込んだ内容の検討が必要ではないかというご意見もかなりいただきました。先ほど、基本計画に盛り込む話があったように、にぎわいの社会実験を通して、今後、設計レベルになっていくものと少し差があるのかと思いました。そういう意味では特に、オープンスペースの広場などは、バスタのような施設が出てくるところとちょっと違って、基本計画の中身で見ると、あまり具体的な検討がされていないのではないかと見えてしまうかもしれませんが、来年度に社会実験をやっていくということで、利活用のアイデアや工夫を含めた詳細検討を今後進めていくことになるものと思います。その辺の記述を最後のページにうまく盛り込めると良いという意見であったと思います。それから、次の「基本計画におけるバスターミナルの整備に係る事項の取り扱い」について、特に関連してくるのがJ氏からのご質問だったと思いますが、バスタのこの管理運営も含めた話で、防犯についてどう考えているかという話があったかと思えます。ここはちょっとピンポイントなので、現状どう考えているかをお話しいただきたいのですが、どうでしょうか。

<事務局>

まず、バスタに派出所やそういったものを移設してはどうか、といったご提案も含めたご意見をいただいたかと思っております。また今回のバスタ区域につきましては、国の方で整備いただきますが、今後、コンセッションで運営会社が決まっていくことが制度上は想定されております。基本的にバスタについては、長距離バスも入ってまいりますので、24時間に近いような運営も想定されてくるのではないかと思っております。そういった意味で、管理者が常にそこについているということで防犯上は比較的安心なのかと認識をしているところです。実際のところ、ここに交番を持ってくるといった話を警察としたことは現段階ではございませんけれども、区域全体としての治安といった意味で、それをどのように高めていくかについては、重要な課題であると認識しておりますし、今回の整備の中で全線を通じて、情報化を図ってまいります。例えば街路灯等にカメラをつけて、監視ができるような機能をつけていくこととなりますので、その活用のあり方につきましては、今後警察さん等にも相談をしながらどんな活用ができるのか、どういう治安対策ができるのか検討していきたいと思えます。そういった治安に関する部分とか、最先端の技術の活用方法を見えるような形で書けるところはないか、一度検討させていただきたいと思えます。

<事務局>

申し訳ございません。訂正と補足をいたします。三重県警とバスタの島の中に交番を設置できないかというような話は具体的にしております。ただ、高架下にある施設や、諏訪交番をこっちへ持ってくるといった計画は、現時点でないということで伺っております。地域からそういう要望を上げるかどうかという話となるが、もし設置するとなった場合には、国事業のエリアでございますが、市で建てるか、国で建てるか、そういう話になると県警から伺っているところでございます。

<座長>

ありがとうございます。続いて、将来の交通のあり方にも関わる話で、いくつかご意見、ご質問いただいたかと思えます。I氏からは、山側の郊外に住んでいらっしゃる住民の方々が、都心に来るためのアクセスの将来的な考え方は、この基本計画で受け止めるのか、総合交通戦略のようなもので考えるのか、あるいは公共交通バス事業者などとも一緒に別の計画で考えていくのか、いろんなことが考えられると思えますが、バスタができて都心の利便が上がっていく中で、郊外からどのようにアクセスしやすくなるのかといったご質問があったかと思えます。それからあわせて、L氏からは逆にバスタや中央通りを中心にして、街のいろんなところに利用者を流動させていきたいという交通事業者としてのお考えもいただいたわけですが、これは裏表の関係で、要は郊外から都市に、あるいは都市から周辺へということだと思えますが、この辺は行政としてできることも限られるかもしれませんが、どのようなことが今後考えられるのかについて、もし何かご見解があれば聞いておきたいと思えます。

<事務局>

まず、中央通りの再編とバスタの整備が実現をしております。そういった節目で総合交通戦略の方で交通事業者と行政、さらには市民といった全体で、これからの公共交通をどうやっていくかといった議論する場を持っているわけでございますけれども、その改定をしていこうと考えており、

その中で、これからの全体の交通ネットワークのあり方や、それに対するアプローチを、官民連携でどうやっていけるのかを盛り込んでいくような形で見直しをかけていくつもりです。基本的には10年の計画で、5年ごとに進行管理を見直していくというような形で進めてまいりますので、その中でまた市民の皆さんにも見ていただけるようにしっかりとまとめてまいりたいと思っております。

<座長>

ありがとうございます。I氏からピンポイントでご質問も兼ねたようなご発言があったと思いますが、連節バスへの対応は将来的にどうなるのかという話と災害時の避難機能、防災機能、福祉的な避難への将来対応については、どのように考えられているのかについてご質問があったかと思っておりますので、よろしくお願いします。

<事務局>

連節バスについてですが、例えば、資料5の44ページをご覧くださいでしょうか。こちらでは、赤四角が並んでいるようなイメージでバスバースを書いてございます。その中でも一部連節バス対応として、細長いバス停を想定した計画がご覧いただけるかと思っております。こちらにつきましては、設計の中で軌跡等をチェックしており、連節バスでも曲がる軌跡となるように、入り口の形状も検討しておりますし、それに対応できるように設計を今後進めていくことになってくると思っております。

避難の関係について、一時的な避難には一定対応できるというような形で、今回全体の計画を書かせていただいておりますけれども、長期にわたる避難となりますと、この場所だけで確保することは当然不可能でございますし、そういった意味では市全体の防災計画の中でしっかりそうしたものを議論していかなくてはいけなくなります。今回、この整備ができますと、新たに一時的な避難に使えるといった機能が出てきますので、今回の中で整理しているものがどの程度使っていただけるかというチェックをまずはさせていただいております。これを踏まえて、市全体の計画に反映していくという形になってまいります。その中で、また市民の皆さんと十分に議論やご紹介をしながら進めていくということになってまいります。

<座長>

ありがとうございます。この計画の呼び方ということで、名前としては近鉄四日市駅周辺等なのだけれども、内容的には中心市街地全体・都心全体の広がりがあるので、今の計画名はどうか、という話をO氏からいただいたかと思っております。それから、直前の質問に関連して、防災機能について、将来的に管理運営のことも含めてだと思っておりますが、実際の使い方について基本計画段階で工夫とかもう少し提案がありますか、という意見だったと思っております。この2点どうでしょうか。

<事務局>

近鉄四日市駅周辺等整備基本計画という計画名ですが、当初市としては、近鉄四日市駅の周辺を主体的に整備していこうという中で事業のスタートを切ってきたという経緯がございます。その中で国土交通省がバスタを直轄化していただいたということもございまして、全体のエリアを広げて四日市市の都市軸を港まで伸ばしていくというような整備になっています。その経緯がある中で、こういった名前由来のものですけれども、この名前の扱いについては、事業との関係もございまして、宿題にさせていただきたいと思っております。それと、使い方の部分につきましては、先ほども少しお答えさせていただきましたけれども、やはり、インフラを整備するときに従来型ではなくて、この道路空間を市民の皆さんに使っていただくということが前提での整備を今回していきますので、そういった意味では使い方をデザインしていくような整備を進めていくこととなります。そういう中でそれをどう組み立てていくかということについて、これから見える化をしながら進めていくことが極めて重要になると思っておりますので、先ほど座長からもお話がありましたが、今後の進め方のところにそういうプロセスを可視化するようなものが盛り込めるよう、工夫させていただきたいと思っております。

<座長>

ありがとうございます。それから、資料の確認ということも含めてだと思っておりますが、S氏からはパースのアングルの位置について計画図全体の中でどこからどのように見ているのかといった案内図があると分かりやすいという話があったかと思っております。学識の2人の委員にも、ここで少しまと

めてご発言をいただきながら、この後、52ページ以降の話についてですが、この「バスターミナルの整備に係る事項の取り扱い」について触れ、先ほど事務局からも依頼があった通り、どの程度この基本計画に盛り込むべきかということもまだ少し確認を必要とする事項で残っていますので、まず、U氏から今までの目次のところと内容のところ、それからもし一緒によろしければ「バスターミナルの整備に係る事項の取り扱い」について、第6回のバスタ部会の内容をどこまで盛り込むのかについても、同時に触れていただければと思います。それから、WEBの方でご出席のV氏にも続けてご発言いただきたいと思いますので、V氏もご準備をお願いいたします。

<U氏>

まず、全体としては、皆さんからこれまでご発言があったように、非常に分かりやすくなったと思っております。ただ誰に対してのメッセージかというのが重要だと思ひまして、先ほどもご発言がありましたが、市民の方々に対してのメッセージということですので、まだ分かりにくいと思ひているところがありますので少し意見ということでお話しします。まず目次ということですが、ざっと見てもらうと、項目の3、4、5、6、7、全部に「基本計画」の文字がかかれています。これらを1つにまとめれば良いと思います。タイトルを「基本計画の枠組み」とかにして、①検討体制②検討経緯③対象範囲というようにすると、他とのバランスも良くなると思います。そして、目次の2ページの項目3と4が後ろへ行って、5、6、7が例えば、「基本計画の枠組み」というような章のタイトルにして、①対象範囲と事業区分、②前提条件と配慮事項、③位置づけとかにすると、番号が変わりますが、その後の8、9、10、とのバランスが良くなるのではないかと思います。それから、先ほどもお話ありましたが、確かにこの9の「イメージ」という言葉が分かりにくいというかふさわしくないと思います。例えばグリーンインフラの配置イメージとありますが、多分これは「イメージ」ではなくて「方針」にあたると思います。どのようにグリーンインフラを配置するかという方針を示していただいていると思うので、「イメージ」という意味と他のものを示す場合には「イメージ」と言う言葉ではないものを使っていた方がいいかと思っています。そのイメージというのは今後変わるかもしれないという意味で「イメージ」が使われている場合と、本当の意味で使っているものを切り離していただいて、本当の意味でのイメージについては、今後変わるかもしれないものに関しては、本文中の「調整の結果が変わる可能性があります」という注書きで十分ではないかと思ひますし、端的に中身がよく分かるかと思ひます。それから、「1.はじめに」があるので、「おわり」が欲しいと思ひます。はじめにがあったら、おわりに、が欲しい。なので、おわりに何かメッセージを流していただいて、その下の検討体制とかこんな組織で検討しました、というように書いてもらうと落ち着きます。それと、この9章は、皆さん分かりやすいと言ひていただひていますが、確かにイメージがいっぱいあって分かりやすく感じますが、施設のレイアウトがあって、パースを3次元で見ると、こんな感じになるのだな、もちろんここにはデザインのコンセプトも入っていますが、そうしていただいた方が、分かりやすく、理解もしやすいです。この目次で言うところ、9章の流れも、パースを使うのであれば、そのパースをもう少し効果的に使ひていただくのではないかと思います。ページも多いので、もう少し小さくても良いかと思ひます。目次としてはそんなところですよ。

次に、皆さんの意見を聞いていくつか思ひたのですが、さきほど事務局が言ひましたが、市民の方々に使ひていただくものであるとか、いわゆる行政がハード整備でにぎわいを生むような仕掛けを作るといふのも、もちろんそういう部分もありますが、それだけではありません。それ以上に、皆さんに使ひてもらえる空間を作って、そして今後皆さんにその使ひ方を考えてもらう。もっと言うところ、皆さんが使ひえるような仕掛けをつくるということだと思ひます。そういう内容が書かれていないので、どうやってにぎわいを生むのかと思ひます。

それから、15ページに書いてある「歩きたくなる中央通り」。これも確かG氏から意見がありましたが「歩きたくなる」ということに関して、どこでその内容が分かるのか、やっぱりそこが入ってないです。デザインに関してはすごくいろいろ書いていただひていますが、そういうにぎわいを生む内容についてどうやって生むのか、「歩きたくなる」をどうやって全体として歩きたくなるようにするのか、というその考え方が、基本となるコンセプトだと思ひます。そこもやっぱり書いて欲しいと思ひます。そういう意味では25ページに交通のことを書いていただひていますが、「歩行者空間・交通機能の配置イメージについて、以下に示す。」の記載の後に、そもそも交通に関してはどういうコンセプトでやるのか、ここの中でまずは、「歩きやすい、快適に歩ける空間」とし、そのために歩行者を優先してスムーズ歩道を導入して自動車に関しては走行を抑制するというようなシェアードスペースを導入し・・・」など何かそういうことを書いていただひて、歩きたく

なる空間に対する考え方が伝わるようにしていただきたい。グリーンインフラとか、眺望とか書いてあるのですが、その辺の文言がない。

それから中央通り全体で公共交通をどう流しますか、もっと言うと自動車交通はどう流しますか、といったようなところも本当は書いていただいた方が、交通事業者さん、警察さんも含め、こういう処理をされるのだ、という方向が理解しやすいかと思っております。

それから先ほどからあった「四日市らしさ」について、結果として、私は四日市らしいと思っております。見せ方を工夫されるとより良くなるのではないかと思います。共通のデザインが書かれている資料5の15ページの「空間の質」のところ、「四日市市の名前の由来となった市や東海道の賑わいを感じる設え」とかいろいろ書かれているのですが、それが多分それ以降になってくると、もうパーツパーツにしか入ってこないの、何かここも少し見せ方を上手に工夫されると「四日市らしさ」をちゃんと使って考えていますよっていうのが生きてくるのではないかと思います。

それから最後に、「バスターミナルの整備に係る事項の取り扱い」についてですが、これは考え方で、おそらくバスターミナルの方も整備計画が決まって、その後変更が当然あるわけです。今後どんどんその時点その時点で変更があって、計画自体の修正はありうると思っております。それから、この基本計画も当然修正があると思っております。ですから、考え方としては、ここにも書いてありますが、「今後の調整によっては変更する可能性があります」とたくさん書かれていますので、そのパターンでひとまず整備計画でまとめたもので留めておいて、「今後変更する可能性があります」を入れる方法が1つあります。ただし、せっかく検討が進んでいるのであれば、私はこの方が良いと思いますが、できるだけ最新のものを反映して、それにしても変更の可能性があるということなのではないかと思っております。他の部分も含めて、どの段階のものをどこで組み込むか、データも一緒ですが、何年分のデータを入れるか、最新のものをとにかく入れていくのか、あるいは確定したものだけで固めていくのか。だからそこは全体として何か考え方を統一されていけばいいのではないかと思います。

<座長>

どうもありがとうございます。続いて、V氏、WEBの方で、よろしく申し上げます。

<V氏>

皆さんの意見がたくさん出ていますので、私からは手短にとしますが、まず構成については私も今U氏がおっしゃったことに賛同してまして、資料的なものはなるべく後ろに置いて、いち早くこのレイアウトの図面に到達できるように工夫した方がいいかと思いました。それから各所に何度か、「イメージ」と書いていますが、「イメージ」って書くとか何かまだ決まってないように聞こえてしまいますが、やっぱり長い時間かけていろんなものを調整して決めたことがここにあるので、あまりそういうふうにはぼやかさないで、もうこれは基本計画に載っていく決定事項で、基本的にはこれでいくということを恐れずに書くべきかと思っております。バスタの部分については、私も最新情報を出すべきだと思います。どうしても決まったことだけ書くと、大まかな内容になってしまって。気がついたらいろんなことが決まっています、工事が始まるというようになってしまうので、もちろん賛否両論が出てくる可能性はありますが、むしろそういう意見を取り入れてより良く修正していくプロセスこそ重要だと思うので、今考えている最新のなるべく詳細情報を、一般に公開していくべきだと思います。3点目は、最後の「今後の進め方」のところですが、ここの61ページはシンプルすぎていて、もう少し、これから何年でどういうことを進めていくのかを記載すべきだと思います。その中で、やはり一般市民の方へのPRが大事で、もちろんこの基本計画ができたものをすぐに公開して説明するというのも大事ですし、工事は何年間に渡って長く続きますので、その時々には多少の変更があったり、今まさに整備を行われているところについては詳細の図面が出てきたりします。あるいは模型も立派なものできておりますので、そういったものを市民がなるべく現場に近いところで見られるようなギャラリーを作って、常に市民の意見も聞きながら、事業を進めていくようなプロセスと拠点があるといいかと思っております。おそらく工事の現場事務所的なものをつくると思うのですが、いわゆる昔ながらの現場事務所じゃなくて、一部分は市民が入ってきて情報を見られるようなものにした方が良くと思います。そこからまた新しいアイデアと活動が生まれるような仕組みを作っていくことなども61ページに盛り込むといいかと思っております。それから、事務局のご意見も聞きたいところですが、今までにインフラの部分について、とてもたくさんのことを決めなければいけなかったの、そこに注力してきましたが、いよいよこれができてくると、私なん

かはその沿道に立つ建物をどうするのかということが気になってまいります。これは公共施設だけではなくて、民間の建物もどうするのか、この基本計画に書いてあるように、中央通りが生まれ変わったときに、自分の建物をどうしようということを地権者の方が思い描き始めるはずです。その時に、特に1階部分の用途とか、外構とか、そのデザインについては、せっかく作る中央通りの都市基盤と上手く合ったものを作る必要があると思いますし、それがうまくいくと、いろんなところでにぎわいが生まれたり、必ずしも全てのところで賑わってなくてもある部分は住宅系の色が強くて、より市民の日常生活の中で使うような広場があったりしてみてもいいと思いますが、いずれにしてもそういう1つ1つの場所が生き生きとしてくると思いますので、次のステップとして、沿道の建物のデザインマネジメントについてどうしていくかということについても、少し今ご意見があればいただきたいと思います。是非大変ですけれども、取り組んでいくと、より素敵な中央通りになるのではないかと思います。

<座長>

どうもありがとうございます。それでは、今2人の先生方からコメントをいただいていますので、事務局の方からもご説明をいただければと思いますがいかがでしょうか。

<事務局>

ありがとうございました。より分かりやすく市民の方に見ていただけるように、いただいた意見を踏まえて事務局の方で修正すべきところを修正できないか、検討をさせていただきたいと思っておりますので、また改めて座長とも相談しながら、その辺の修正をかけたいと思っております。結局、基本計画を立ててから、実際の整備に移っていく段階をしっかりと見える化をしないといけないという意見を多くいただいたと感じております。その中で、まず基本計画は基本計画としてまとめるといって、例えば、この基本計画の更新案が次々と出てくるような位置付けにするとか、そういう基本計画自体の扱いも含めて少し検討をさせていただきたいと思いました。

<座長>

ありがとうございます。事務局から最後にご説明あったところは、この基本計画の位置づけとして大事なところですね。フレームワークプランというような言葉もありますが、枠組み計画っていう中で、やっぱり経時的な事業の進捗に合わせながら計画がアップデートされていくというような、そういう事業計画のあり方というのも当然選択肢としては考えられるので、そういう意味では、ある一時断面ですばっと切った絵柄が確定計画ではないということも、ましてや社会実験をやるということも予定にも盛り込んでいるので、そういう観点からすると、そういうフレームワークプランのような位置づけをしておくというのも選択肢としてあるかと話を伺っていて思いました。それから、すごく測地的というか実務的な話をすれば、検討いただいているこの基本計画の素案を仮に本編とした場合に、先ほどもご説明があったかと思いますが、資料編でもっと詳細ないろんな資料があり、それから場合によっては概要版というのを軽く聞こえますが、大事な要点をまとめたエグゼクティブサマリーのような位置づけで分かりやすく、使いやすくする、というようなものもあるのかもしないです。そういう観点からすると、この時点での話ですが、今出てきている資料の素案から次回は素案の「素」がとれて、年度内に取りまとめをしたいというようなご説明があったと思いますが、これの位置づけという意味では、この段階での位置付けについてもはっきりさせておいた方がいいです。役割分担、資料編とも違う内容について。それから、当然ながら、サマリー的なものが出てくるとすれば、それも役割分担をきちんとする必要がありますので、その辺の位置づけを考えておくことは必要ではないかと思いました。それでは事務局の方から事項書で、ここは検討してほしいというように冒頭説明があった、第6回バスタ部会の内容の取り扱いについては、今、お聞きしたような意見でよろしいでしょうか。

<事務局>

バスタの事業については国直轄の事業として進められてまいりますので、こういった形でのアップデートが図られるかといったところについては、三重河川国道事務所ともいろいろ協議をしながら、主としては、市民の皆さんにも分かりやすく伝えるということが大事だと思いますので、そういった視点でこういった対応できるかについて、検討させていただいて次回に臨ませていただきたいと思っております。

<座長>

ありがとうございます。それではW氏、よろしくお願いします。

<W氏>

いろいろありがとうございます。目次も含め、どちらかという内容の方かと思いますが、U氏からもありましたし、事務局からもありましたけれども、今のこの状態が少し前の状態のものでもあったりするかと思うので、どういったところで最新版に変更していくことができるのかというところは、また検討させていただきたいと思っています。改めてということではありますけれども、なかなか難しいと思うのが、これから我々のバスタ事業が官民連携ということできっちりやっていきたいと思っているところもあって、民間の事業者として、どういった会社に担っていただくかわからないわけですが、実際そういったプレイヤーが揃ってそういった事業者のやりたいところや創意工夫みたいなどころもある中で、あまり全てを決めきりすぎると、そういったところでなかなか身動き取りにくいというところがあったりもするので、特に10章のところの資料の仕立てが少し全体として追いついてないところがあるのは、そうした理由であると思っています。ただ、自転車道の話もあったかと思っていますので、全体としてバランスが取れてないのもよろしくないかと思っていますので、更新の仕方についてまた相談はありますが、U氏がおっしゃったような形で、できるだけ最新のものにすることを進めていかなくてはいけないかと思っていますので。

<座長>

ありがとうございます。ズームの方で出席いただいているX氏お願いいたします。それからY氏お願いします。

<X氏>

資料についてはよくまとめていただいたと思いますが、今年度末で基本計画が取りまとめられるということで、今後基本計画の更新等が出てくると思うのですが、中央通りの調整会議自体の来年度以降のあり方というのは、どうなっていくのかというところを教えてくださいませんか。

<座長>

事務局からお願いします。

<事務局>

まずこの調整会議ですけれども、基本計画を策定することを目標として設置していたという経緯があります。ただ、一方でこれからいろいろ精査をかけて改めてそれを盛り込んでいくというようなところも出てきますので、この調整会議の置き方については、次回までに少し整理をさせていただこうと思います。このままにしていくのか、あるいは一定まとめた基本計画に沿って、それぞれの事業が調整をされていくといった調整の場にするのか、そういったところも含めて次回に提案させていただきたいと思っています。

<座長>

ありがとうございました。それではY氏お願いします。

<Y氏>

内容については、事務局側でございますので、特にございませんけれども、本当にまず年始のお忙しいところに皆さま方お集まり、あるいはご参画をいただきまして、まず御礼を申し上げます、ありがとうございます。本当に皆さま方からいろいろと意見を頂戴して計画をよりよいものにしていきますし、またよりよい事業にしていけると考えております。特に、細部についていろいろご意見頂戴した内容は、事務局サイドで盛り込めるところを盛り込んでまいりますし、特に最後の方でいろいろご意見頂戴しましたけれども、市民に対しての情報発信をしっかりと進めていきたいと思っています。これまでは、コロナの2年間にあったわけですが、いよいよ今年から、次の未来に向けての、明るい良い情報を市民に届けていって、今後のまちづくりをしていくというのは、市の大きな方針でございます。そういった中で、中央通りを中心としたこのプロジェクトは、本市にとっての本当の一大プロジェクトですので、全庁をあげて取り組んでまいりますし、中心市街地

がやはり今回のコロナでだいぶ疲弊をしております。これをもう1回市民の皆さんに取り戻すためにも、進めていかななくてはなりませんし、まちなかの中心部で今いろんなところで建設が始まり、クレーンが立っていたりするという事は、本当に希望の象徴にもなっておりますので、是非そういう方向に向けて、今後加速をしていきたいと思っておりますので、是非今後とも、様々なご意見をちょうだいできればと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

<座長>

ありがとうございます。素案の協議という内容については、皆様方からご意見をいただきつつ、事務局サイドからも内容について、あるいは位置づけについても、方針をご説明いただきました。次回に向けて、引き続き三重河川国道事務所とも協議を継続いただきながら、最新情報を盛り込んでいただくべきところは盛り込んでいただくというようにしつつ、今後の進め方のところも、もう少しディテールを詰めていただきながら等、また新しい追加内容が増えてくると思いますので、それらを含めて先ほどご意見もあったような目次全体の明確化、分かりやすさをもう1回推敲し、それからさらにその先になると、今度は年度内取りまとめに向けた作業の中で、基本計画として盛り込むべき素材が出てきているという段階なので、本当に計画案・計画書として見たときには、細かいところも含めて、最初から最後までワントーンでまだ揃ってないところが随分あるので、その辺も含めた基本計画としての取りまとめレベルの内容にさせていただくということも、次の次ぐらいに向けた作業ではあるかと思ひますから、その辺も引き続き事務局の方にはご苦勞ですけれどもよろしくお願ひしたいと思ひます。さて、次の3番目の事項に進んでいきたいと思ひますが、先行整備区間の検討状況の報告ということで、もう一度薄い方の資料、資料4の、6ページからになると思ひますが、そこから主に駅西の話になると思ひますけれども、事務局の方から説明をお願ひします。

【3. 先行整備区間の検討状況の報告】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされ、続いて各構成員より以下のとおり質問・意見等をうかがった。

<座長>

どうぞU氏お願ひします。

<U氏>

先ほどのお話ですと、2年後には先行整備区間がオープンすると思ひのですが、資料4の7ページを見ますと「将来的な活用も視野に入れた」と書かれてお願ひしますが、そのオープンと共に、やはり使っていただくという体験は非常に重要だと思ひているのですが、その2年後のオープンとともにこの空間で市民の方々、あるいは民間事業者の方々が営業活動を行うような枠組みというのを考えられているのでしょうか。

<事務局>

ありがとうございます。一部で、こういったところにキッチンカーを入れたいといった声は現実お聞きをしているところでございます。そうした中で、その使い方を含めて、以前に再開発をした区域と隣接しておりますので、そういう関係者との協議の場ができ上がっているっていうところもございまして、そういった中では十分活用できるようなスキームを見つけ出していくということで進めてまいります。

<U氏>

ぜひ先行オープンですので、先行的に空間も整備できながら、使い方も新しく変わってくると、その後の整備にも期待が高まっていくかと思ひますので、是非オープンとともに賑わうような空間ができることを期待します。

<座長>

よろしいでしょうか。駅西のエリアについては、市民公園等、再開発以前からやっている中でエリマネというように呼んでいかどうか別にしても、担い手の組織グループがしっかり出来ていると理解して、その方々を中心に市の方とも利活用の協議をされていると思ひますので、是非実現に向けて推進していただければと思ひます。それでは、次第4に進んでいきたいと思ひます。資

料4の13ページから、利活用計画の検討状況の報告ということでよろしくお願ひします。

【4. 利活用計画の検討状況の報告】

【5. 今後の進め方】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされ、続いて各構成員より以下のとおり質問・意見等をうかがった。

<座長>

全体通してお気づきのところがあったらぜひご発言いただきたいと思ひますのでお知らせください。いかがでしょうか。

<事務局>

事務局から1点補足をさせていただきたいと思ひます。冒頭の基本計画の素案の取りまとめに当たりまして、P氏より、市民公園のリニューアルというようなお話をいただいております。先ほどU氏の方からも、先行整備区間が2年後にオープンになるというところで、大きく利活用が進むというところを打ち出していくべきだというようご指摘もいただいておりますが、今回この中央通りの再編に合わせまして、市民公園の噴水の部分は置いておくつもりなのですが、それ以外の部分も含めて市民公園がしみ出して道路側へ広がってくるようなイメージで改変リニューアルを進めようと思ひますので、こちらも含めて利活用の方も含めて検討していきたいと思ひます。それから社会実験について、座長の方からも次回までにもう少しブラッシュアップしたものを、ということで、先ほどアドバイスをいただきましたが、にぎわいに合わせて交通の社会実験、次世代モビリティ等々についても社会実験で検証していきたいと思ひしているところでございます。

<座長>

いろいろ同時並行で進めなければいけないものがあると思ひるので大変かと思ひますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。それではZ氏お願ひします。

<Z氏>

参考にお尋ねするのですが、今、四日市市の方で2月末までに歩行者の流動調査をやっていると思ひのですが、その調査もまたこの3月の会議に向けての調査ということなんでしょうか。

<座長>

事務局、お答えいただけますか。

<事務局>

ご意見ありがとうございます。この中央通り再編にあわせて、にぎわいづくりというところも含めて現況の歩行者流量、それから自動車等の交通量の方も自動計測という形で計測をしております。こちらにつきましても、また機会があれば皆様の方に、そういう状況があるということもお知らせさせていただきながら、今後のにぎわいづくりに向け、これを活用しながら発展させればと思ひます。期間は、年度末を目指して、現況の調査をしているという状況でございます。また利活用が進むごとに、検証ということも含めてあわせて考えていきたいと思ひます。

<座長>

ありがとうございます。他に全体を通していかがでしょうか。AA氏どうぞ。

<AA氏>

全体のお話しをお伺ひして、1点だけ、先ほどの基本計画の方で、「はじめに」のところを拝見させていただくと、四日市市としての産業都市としての位置づけや、メガリージョン形成の位置づけ、リニアのゲートウェイとかという国全体としての色んな書き方がされていますが、一方で、四日市市としてこの場所をどのように考えているかについてももう少しここに書かれると、先ほど色々と議論のありました、「四日市らしさ」であるとか、Y氏の述べていた四日市市としての視点などをこの前段に盛り込んでおくと思ひた次第でございます。

<座長>

どうも、ありがとうございました。是非そのように工夫をしていただければと思います。それでは、次第は以上だと思しますので、事務局にお返しします。

—以上—